

2025年7月4日
矢崎エナジーシステム株式会社

富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社の株式取得に関するお知らせ

矢崎エナジーシステム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 矢崎 航、以下「当社」）は、ネットワーク関連製品（スマートメーター用通信ユニット、PBX/IP-PBX、ルーター/スイッチ）を製造・販売する富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社（本社：山梨県南アルプス市、代表取締役社長 多田 真敏、以下「FINET」、の全株式（株式会社キーストーン・パートナーズ 80%、富士通株式会社 20%）を取得し、グループ会社化しましたので、お知らせいたします。

記

1. 株式取得の目的

当社は、電力、都市ガス、LP ガス、太陽熱などの多様なエネルギー関連製品を提供しエネルギーインフラ分野の事業領域を展開しております。エネルギー社会が変化する中当社はこれをチャンスと捉えて、多様なエネルギーを最適に活用する製品、サービスを提供し「あらゆるエネルギーの総合プロデュース企業」として、お客様や社会に貢献していきたいと考えています。

一方、FINET はネットワーク関連製品（スマートメーター用通信ユニット、PBX/IP-PBX、ルーター/スイッチ）の製造・販売を行っており、特に、スマートメーター用通信ユニットは電力メーター向けであるため、電力会社向けのビジネスを強みとしています。

近年、通信インフラの変化や人手不足を背景に電力メーターおよびガスメーターのスマートメーター化が急速に進み、また世界的な潮流としてカーボンニュートラルに向けた取り組みが企業の責任となっています。

このような状況のなか当社は FINET をグループ会社化する事とし、さらなる事業基盤の強化を図ります。また想定しているシナジーは以下のとおりです。

－ 製造・商流の融合

矢崎グループが有する自動車部品、ガスメーター、電線などの開発能力、および販売網の活用により、製品開発・供給体制の強化が期待されます。

- **全国対応の営業・物流体制**
当社の既存の営業・物流ネットワークを活用し、より緻密なサービス提供が可能となります。
- **遠隔検針サービスの拡充**
ガスの計量技術と通信技術を活かし、電力・ガスの共同検針に対応した新たなサービスの創出を目指します。
- **自動車関連技術への展開**
Software First が進む自動車業界において、矢崎グループの電装部品技術を活かし、将来的には自動車用 EMS 事業への展開も視野に入れております。
- **物流拠点としての戦略的立地**
自然災害の少ない地域における立地や道路拡張計画を踏まえ、重要な物流拠点としての活用も検討しております。

2. 株式取得の概要

- (1) 取 得 日：2025年7月4日
- (2) 出 資 割 合：発行済株式の100%

3. 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社の概要

- (1) 会 社 名： 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社
(商号を「矢崎ネットワークシステムズ株式会社」へ変更することを予定しております)
- (2) 設立年月日： 1943年10月18日
- (3) 本社所在地： 山梨県南アルプス市有野3346番地
- (4) 代 表 者： 代表取締役社長 多田 真敏
- (5) 資 本 金： 1億円
- (6) 事 業 内 容： ネットワーク関連製品の製造(PBX/IP-PBX、ルーター/スイッチ、スマートメーター用通信ユニット)
ネットワーク機器キッティングサービス
アライアンス製品評価・顧客ネットワーク構築支援
- (7) 従 業 員 数： 304名(2025年4月末現在)
- (8) 売 上 高： 142億円(2025年3月期)
- (9) 主 な 拠 点： 本社工場(山梨県南アルプス市)